



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月14日

上場会社名 ニッポン高度紙工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3891 URL <https://www.kodoshi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山岡 俊則  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員経営企画室長 (氏名) 溝渕 泰司 TEL 088-894-2321  
 定時株主総会開催予定日 2020年6月24日 配当支払開始予定日 2020年6月25日  
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	13,099	△8.9	995	△26.1	970	△26.1	691	△53.8
2019年3月期	14,373	△16.1	1,346	△20.7	1,313	△15.9	1,495	250.4

(注) 包括利益 2020年3月期 672百万円 (△58.0%) 2019年3月期 1,600百万円 (177.2%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	64.27	—	4.8	4.3	7.6
2019年3月期	139.00	—	11.0	5.8	9.4

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	22,304	14,710	66.0	1,367.56
2019年3月期	22,482	14,252	63.4	1,325.03

(参考) 自己資本 2020年3月期 14,710百万円 2019年3月期 14,252百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	2,438	△1,060	△933	1,792
2019年3月期	1,417	△524	△1,065	1,355

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	215	14.4	1.6
2020年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	215	31.1	1.5
2021年3月期 (予想)	—	10.00	—	10.00	20.00		35.9	

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	6,000	△5.6	300	△36.1	300	△32.9	200	△47.8	18.59
通期	12,500	△4.6	900	△9.6	900	△7.3	600	△13.2	55.78

(注) 今回公表した連結業績予想は、新型コロナウイルス感染拡大の業績に与える影響が夏場から秋口にかけて最も大きく、年明け以降、徐々に事業活動が回復する前提で算出しております。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期:	10,953,582株	2019年3月期:	10,953,582株
② 期末自己株式数	2020年3月期:	196,897株	2019年3月期:	196,897株
③ 期中平均株式数	2020年3月期:	10,756,685株	2019年3月期:	10,756,695株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	12,795	△3.6	981	△22.2	958	△25.1	626	△59.5
2019年3月期	13,273	△4.5	1,261	△28.5	1,279	△23.5	1,544	263.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	58.25	—
2019年3月期	143.63	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2020年3月期	20,857	14,444	14,444	14,444	69.3	1,342.87	1,342.87	
2019年3月期	21,116	14,073	14,073	14,073	66.6	1,308.35	1,308.35	

(参考) 自己資本 2020年3月期 14,444百万円 2019年3月期 14,073百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(連結損益計算書) .....	7
(連結包括利益計算書) .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
4. その他 .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度の世界経済およびわが国経済につきましては、米中貿易摩擦の影響が残る中、期末にかけて新型コロナウイルスの感染拡大による世界的な経済活動への影響があり、予断を許さない状況となりました。

当社グループの関連市場であるエレクトロニクス業界におきましては、データセンター需要の復調や5Gの本格的な普及に向けた基地局などへの設備投資が期待されているものの、市況に持ち直しの動きがみられない状況が続きました。

このような状況の中、コンデンサ用セパレータは、車載向けで自動車の電装化率上昇による部品搭載点数の増加はあるものの、世界的な生産台数減少の影響が大きく、あわせて、工作機械などの産業機器向けの需要低迷もあり、当連結会計年度の売上高は10,034百万円(前連結会計年度比1,741百万円、14.8%減)となりました。

電池用セパレータは、海外における風力発電やスマートメーター向けの電気二重層キャパシタ用が年間を通じて好調に推移したことに加え、車載向け大型リチウムイオン電池用が燃費向上を目的とした採用車種の増加にともない需要拡大したため、当連結会計年度の売上高は3,065百万円(前連結会計年度比960百万円、45.6%増)となりました。

この結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は、電池用セパレータがリチウムイオン電池用を中心に大幅な伸張となりましたが、主力のコンデンサ用セパレータの需要は回復に至らず、13,099百万円(前連結会計年度比1,273百万円、8.9%減)となりました。

利益面におきましては、売上高減少とそれともなう稼働率低下による原価率上昇などにより、営業利益は995百万円(前連結会計年度比351百万円、26.1%減)、経常利益は970百万円(前連結会計年度比342百万円、26.1%減)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、子会社譲渡による特別利益などを計上した前連結会計年度比で減少し、691百万円(前連結会計年度比803百万円、53.8%減)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ178百万円減少し、22,304百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金の増加、その他流動資産の減少等により、前連結会計年度末に比べ287百万円増加し、11,489百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産の取得および減価償却実施等により、前連結会計年度末に比べ465百万円減少し、10,815百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ635百万円減少し、7,594百万円となりました。

流動負債は、短期借入金の純減等により、前連結会計年度末に比べ495百万円減少し、4,914百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の新規調達および約定返済等により、前連結会計年度末に比べ140百万円減少し、2,679百万円となりました。

純資産は、剰余金の配当の実施、親会社株主に帰属する当期純利益691百万円を計上したことによる利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ457百万円増加し、14,710百万円となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は1,792百万円(前連結会計年度末比437百万円、32.3%増)となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前当期純利益970百万円、減価償却費1,254百万円、売上債権の増加額274百万円、法人税等の還付額238百万円等により、営業活動の結果得られた資金は2,438百万円(前連結会計年比1,021百万円、72.0%の収入増)となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出1,032百万円等により、投資活動の結果使用した資金は1,060百万円(前連結会計年度比535百万円、102.0%の支出増)となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の純減460百万円、長期借入れ1,200百万円の実施および約定返済1,457百万円等により、財務活動の結果使用した資金は933百万円(前連結会計年度比132百万円、12.4%の支出減)となりました。

当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは、次のとおりであります。

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率(%)	53.9	53.8	56.1	63.4	66.0
時価ベースの自己資本比率(%)	37.5	46.1	139.6	72.0	43.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	4.0	2.9	2.7	2.7	1.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ	68.1	75.2	47.1	40.4	272.1

## (注) 1. 各指標の内容

自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

- 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。
- 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## (4) 今後の見通し

中長期的には、工作機械や白物家電市場、自動運転などに代表されるCASE市場の伸張が見込まれる車載向け、市場拡大が続くIoTや5G関連などでのコンデンサ用セパレータ需要の増加に加え、電池用セパレータの堅調な推移を見込んでおります。

翌連結会計年度におきましては、世界的に感染拡大した新型コロナウイルスの影響・収束時期が不透明な状況です。工作機械の受注回復に遅れが生じ、自動車の販売台数も世界的に落ち込んでおりますが、テレワークの推進によりノートPCの販売台数が増え、データセンターや5G基地局の設置も進む等多岐にわたる市場に影響が及んでおります。

このような状況の中、翌連結会計年度の売上高は12,500百万円(当連結会計年度比599百万円、4.6%減)と見込んでおります。利益面につきましては、営業利益は900百万円(当連結会計年度比95百万円、9.6%減)、経常利益は900百万円(当連結会計年度比70百万円、7.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は600百万円(当連結会計年度比91百万円、13.2%減)と見込んでおります。なお、為替レート的前提は1米ドル=108円としております。

## 売上高予想

(単位:百万円)

品 目	第2四半期連結 累計期間予想	通期予想	対当連結会計 年度実績比
【セパレータ事業】	6,000	12,500	95.4%
・コンデンサ用セパレータ	(4,500)	(9,500)	(94.7%)
・電池用セパレータ	(1,500)	(3,000)	(97.9%)

(注) 1. ( ) 内は売上高の内数を表しております。

2. 今回公表した売上高予想は、新型コロナウイルス感染拡大の業績に与える影響が夏場から秋口にかけて最も大きく、年明け以降、徐々に事業活動が回復する前提で算出しております。

## (新型コロナウイルス感染症による事業等のリスク)

当社グループにおきましては、顧客への製品の安定供給責任を果たすためBCM活動に取り組んでおり、原料の安定調達につきましてもSCMの観点に立ち、しっかりと対応しておりますが、マレーシアの現地子会社を含めた各事業所において新型コロナウイルスの感染が発生した場合、事業所の閉鎖や操業停止などによりセパレータ製品の供給に支障をきたす可能性があります。

当社は、「安全・健康はすべてに優先する」という経営方針のもと、今般の感染拡大に際して3月に対策本部を立ち上げ、政府の緊急事態宣言などの指針も踏まえ、会議体の縮小、事業所間の移動禁止、出勤時の検温、マスク着用等の予防体制を構築するとともに、テレワークの開始などを進め、従業員の安全を確保し感染予防に努めております。また、当社製品を安定的に供給するため製品在庫の積み増しを行い、お客様に安心していただくとともに、不測の事態に備え手元資金の積み増しなどの対策を講じております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当面は、海外からの資金調達の必要性が乏しい等の理由により、日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移および国内他社のIFRS(国際財務報告基準)採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討をすすめていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,355,326	1,792,679
受取手形及び売掛金	3,865,809	4,139,584
商品及び製品	2,246,805	2,154,157
仕掛品	4,473	3,650
原材料及び貯蔵品	3,227,099	3,265,404
その他	502,159	134,052
流動資産合計	11,201,673	11,489,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,750,885	2,574,065
機械装置及び運搬具(純額)	4,344,331	4,425,464
土地	2,018,326	2,036,326
建設仮勘定	490,420	321,537
その他(純額)	299,040	255,575
有形固定資産合計	9,903,004	9,612,969
無形固定資産	52,200	41,789
投資その他の資産		
投資有価証券	265,154	213,440
繰延税金資産	898,241	808,904
その他	183,625	159,251
貸倒引当金	△21,000	△21,000
投資その他の資産合計	1,326,022	1,160,596
固定資産合計	11,281,227	10,815,355
資産合計	22,482,901	22,304,884

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,124,365	1,008,388
短期借入金	1,000,000	542,421
1年内返済予定の長期借入金	1,262,418	1,156,597
未払金	1,006,863	961,485
未払法人税等	13,008	220,760
設備関係未払金	513,944	446,070
その他	489,452	579,042
流動負債合計	5,410,052	4,914,765
固定負債		
長期借入金	1,516,741	1,365,144
繰延税金負債	16,488	15,289
退職給付に係る負債	1,209,421	1,223,857
その他	77,240	75,376
固定負債合計	2,819,890	2,679,667
負債合計	8,229,943	7,594,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,241,749	2,241,749
資本剰余金	3,942,071	3,942,071
利益剰余金	8,480,242	8,956,389
自己株式	△166,527	△166,527
株主資本合計	14,497,537	14,973,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,827	△9,208
為替換算調整勘定	△88,562	△90,392
退職給付に係る調整累計額	△186,843	△163,631
その他の包括利益累計額合計	△244,578	△263,232
純資産合計	14,252,958	14,710,451
負債純資産合計	22,482,901	22,304,884



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	14,373,323	13,099,452
売上原価	11,082,930	10,369,735
売上総利益	3,290,393	2,729,716
販売費及び一般管理費	1,943,430	1,734,670
営業利益	1,346,963	995,046
営業外収益		
受取利息	5,879	3,661
受取配当金	5,904	6,032
受取保険金及び配当金	14,268	15,099
助成金収入	2,780	2,500
物品売却益	10,690	—
その他	13,018	12,289
営業外収益合計	52,540	39,583
営業外費用		
支払利息	31,747	8,964
為替差損	38,610	32,228
固定資産除却損	14,141	22,024
その他	1,925	709
営業外費用合計	86,424	63,926
経常利益	1,313,079	970,703
特別利益		
関係会社整理益	123,744	—
特別利益合計	123,744	—
税金等調整前当期純利益	1,436,824	970,703
法人税、住民税及び事業税	29,000	189,335
法人税等調整額	△87,317	90,086
法人税等合計	△58,316	279,422
当期純利益	1,495,140	691,281
親会社株主に帰属する当期純利益	1,495,140	691,281

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,495,140	691,281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,310	△40,035
為替換算調整勘定	78,357	△1,829
退職給付に係る調整額	66,646	23,211
その他の包括利益合計	105,693	△18,654
包括利益	1,600,834	672,626
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,600,834	672,626
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,241,749	3,942,043	7,189,479	△166,334	13,206,938
当期変動額					
剰余金の配当			△204,377		△204,377
親会社株主に帰属する当期純利益			1,495,140		1,495,140
自己株式の取得				△226	△226
自己株式の処分		28		33	62
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	28	1,290,762	△192	1,290,598
当期末残高	2,241,749	3,942,071	8,480,242	△166,527	14,497,537

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	70,137	△166,920	△253,489	△350,272	12,856,665
当期変動額					
剰余金の配当					△204,377
親会社株主に帰属する当期純利益					1,495,140
自己株式の取得					△226
自己株式の処分					62
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△39,310	78,357	66,646	105,693	105,693
当期変動額合計	△39,310	78,357	66,646	105,693	1,396,292
当期末残高	30,827	△88,562	△186,843	△244,578	14,252,958

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,241,749	3,942,071	8,480,242	△166,527	14,497,537
当期変動額					
剰余金の配当			△215,133		△215,133
親会社株主に帰属する当期純利益			691,281		691,281
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	476,147	—	476,147
当期末残高	2,241,749	3,942,071	8,956,389	△166,527	14,973,684

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	30,827	△88,562	△186,843	△244,578	14,252,958
当期変動額					
剰余金の配当					△215,133
親会社株主に帰属する当期純利益					691,281
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△40,035	△1,829	23,211	△18,654	△18,654
当期変動額合計	△40,035	△1,829	23,211	△18,654	457,493
当期末残高	△9,208	△90,392	△163,631	△263,232	14,710,451

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,436,824	970,703
減価償却費	1,194,562	1,254,790
関係会社整理益	△123,744	—
受取保険金	△14,268	△15,099
貸倒引当金の増減額(△は減少)	920	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14,004	△979
受取利息及び受取配当金	△11,783	△9,694
支払利息	31,747	8,964
為替差損益(△は益)	119,002	7,908
有形固定資産除却損	14,141	22,024
売上債権の増減額(△は増加)	587,679	△274,998
たな卸資産の増減額(△は増加)	△893,146	54,636
その他の資産の増減額(△は増加)	△208,055	124,051
仕入債務の増減額(△は減少)	△29,757	△113,356
未払消費税等の増減額(△は減少)	△48,709	119,962
その他の負債の増減額(△は減少)	△254,950	△25,149
その他	208,406	78,034
小計	2,022,872	2,201,797
利息及び配当金の受取額	11,783	9,694
利息の支払額	△35,105	△8,963
保険金の受取額	32,527	26,424
法人税等の支払額	△614,945	△28,916
法人税等の還付額	452	238,910
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,417,583	2,438,946
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,009,038	△1,032,146
補助金等の受入れによる収入	1,788	1,575
無形固定資産の取得による支出	△47,817	△3,875
投資有価証券の取得による支出	△565	△630
連結の範囲の変更を伴う関係会社の整理による収入	578,659	—
その他	△47,766	△25,084
投資活動によるキャッシュ・フロー	△524,739	△1,060,159

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△500,832	△460,598
長期借入れによる収入	1,000,000	1,200,000
長期借入金の返済による支出	△1,359,984	△1,457,418
自己株式の処分による収入	62	—
自己株式の取得による支出	△226	—
配当金の支払額	△204,377	△215,133
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,065,358	△933,150
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△24,537	△8,283
現金及び現金同等物の期首残高	1,552,378	1,355,326
現金及び現金同等物の期末残高	1,355,326	1,792,679

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I. 前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

当社グループは、「セパレータ事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II. 当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社グループは、「セパレータ事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,325円03銭	1,367円56銭
1株当たり当期純利益金額	139円00銭	64円27銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	1,495,140	691,281
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(千円)	1,495,140	691,281
普通株式の期中平均株式数(株)	10,756,695	10,756,685

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

(1) 役員の変動(2020年6月24日付予定)

① 代表者の変動

該当事項はありません。

② その他の役員の変動

・新任取締役候補

取締役 矢田部 達志

・退任予定取締役

取締役会長 鎮西 正一郎

取締役 溝渕 泰司

(2) その他

該当事項はありません。